

大阪市更生療育センター 「にこにこ倶楽部」

(大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター訓練棟)



大阪市更生療育センター「にこにこ倶楽部」では、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群等）と診断された児童および保護者の方を対象に、障がいの特性に合わせた療育と保護者の方に対する研修を行います。

この事業は、個別プログラムに基づき実施する「大阪市発達障がい児専門療育」です。

大阪市から事業委託を受けており、障がい児通所給付費の決定を受けてご利用いただけます。

《療育の方針》

自閉スペクトラム症等と診断された子ども達が、家庭や所属する集団の中で、その子らしく豊かに暮らし、自尊心をもって自立的な生活ができることを目指します。そのために、保護者の方と協力しながら、幼児期における基盤を築いていきます。

- (1) 自閉スペクトラム症の特性理解
- (2) 個別評価と目標設定
- (3) 支援方法のモデルの提示
- (4) 家庭での応用・所属園との連携
- (5) 保護者研修



《主な療育内容》

*日課の見通しがもちやすいようにスケジュールの提示を行います。

*コミュニケーションを取りやすくするための工夫をおこないやりとりにつなげます。

*自立的に勉強することで、達成感を味わい、先生と製作などをするすることで、自発的に「教えて」「手伝って」と発信するような機会をもちます。

*興味や関心のある遊びを探り、友だちと空間を共有する中で社会性を育めるよう支援します。

*道具操作のスキルの向上や着替えなど身の回りのことが自立的にできるよう支援します。

例) スケジュールのお知らせ
スケジュールを見てわかる形でお知らせすることで、見通しを持ち、自立的に活動できるように支援します。スケジュールの形態はお子さんの様子に合わせます。



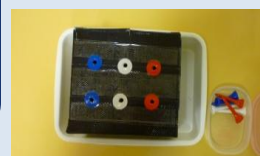
例) スタッフとお勉強
製作や鉛筆課題、簡単なゲームなどで、やりとりします。



例) 自立課題
ひとりで課題に取り組みます。ひとりでできた経験は、達成感や自信につながります。



自立課題の例



例) あそび

玩具や室内用の運動遊具を提供し遊びの工夫を応援したり、人とのやりとりを促すような場面を設定します。また、先生やお友達と簡単なルールのある遊びをすることもあります。



例) きゅうけい

リラックスできる時間や空間を提供します。





例) おやつ
食器の準備や手洗い等の活動は家事スキルにも繋がります。また、おやつを要求する中で、人を呼ぶ、何をどれだけほしいか、などを伝えられるように支援します。



保護者研修会 (支援グッズ作成場面です)
「自閉スペクトラム症とは」「コミュニケーションの捉え方」「気になる行動の理解と支援」「先輩保護者に学ぶ」など、各回のテーマの話聞くだけではなく、保護者同士で話し合いながら理解を深めていきます。

保護者の声

親子で通うのは大変だったけれど、具体的な支援方法や関わり方を学べ、少しだけ、子育てに自信が持てるようになりました。

保護者の声

子どもが楽しみにしているので、遠方からですが頑張って通いました。わかってとても大切なことですね。

《療育のご利用にあたって》

＊専門療育は、保護者同伴です。1年間継続が可能で、保護者研修にも参加できる方が対象です。

＊利用には、児童発達支援の受給者証が必要です。

＊利用料金(国が定める利用者負担額)は、幼児教育無償化の対象です。

1: 募集対象および定員

未就学児(3歳～年長児) 40名

2: 頻度

療育: ほぼ隔週 1回1時間程度(1年間限定、年間20回) 保護者同伴

保護者研修会: 月1回 全10回(参加必須) 保護者の方のみでご参加ください。

※曜日や時間帯はご希望に添えない場合もあります。 ※土日祝日は休園日

《療育開始までの流れ》

専門療育説明会への参加
利用についての説明・希望曜日の調査



利用の合意
受給者証申請等区役所での手続き



質問紙による事前の情報収集



4月～アセスメント
児童発達支援計画作成



5月～療育・保護者研修会スタート

ACCESS GUIDE



〒547-0026

大阪市平野区喜連西6-2-55

大阪市更生療育センター 療育部門

(大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター訓練棟)

TEL (06) 6797-6682

HP <http://www.fukspo.org/ortc/child/>